

平成 26 年度 苫小牧市公民館運営審議会・図書館協議会 定例会議 議事録

平成 26 年 6 月 20 日（金）

午後 1 時 30 分

中央図書館 2 階 講堂

事務局 それでは皆様ご出席ありがとうございます。ただ今より平成 26 年度公民館運営審議会、図書館協議会定例会を開催いたします。

< 教育長より委員へ委嘱状を交付 >

事務局 以上で委嘱状の交付を終わります。本日は委員 10 名全員の出席をいただいております。次に教育委員会を代表しまして教育長より、あいさつを申し上げます。

教育長 < 教育長挨拶 >

事務局 ありがとうございました。なお、教育長につきましては、この後公務がございまずので、退席させていただきたいと思ひます。それでは、今回、委員改選後初めての委員会となりますので、まず各委員の皆様から自己紹介をお願いしたいと思ひます。恐れ入りますが、一谷委員様からお願いできますでしょうか。

< 委員、事務局員紹介、挨拶 >

事務局 続きまして、会長、副会長の選出に移らせていただきたいと思ひます。委員から会長、副会長各 1 名を選出することになっております。先例に従ひまして、本年度も事務局一任とさせていただきます。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは教育部長の方から。

教育部長 それでは、事務局といたしましては、会長職を苫小牧市教育研究会図書館研究部会の森島委員。それから副会長を深澤委員をお願いしたいと考えております。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは会長を森島委員に副会長は深澤委員ということで決定させていただきます。

事務局 それでは会長、副会長から、それぞれ一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。森島会長さん、よろしくお願ひいたします。

会 長 はい。もう一度、皆さん、こんにちは。先ほど申しましたけれども、自分は苫小牧教育研究会の学校図書館部会の代表として出席しております。小学校、中学校の先生たちの集まりですので、そういった中で、中央図書館とどういった形で協力ができるかということで、皆さんのご意見等をお伺いしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

副会長 力不足ではございますが、副会長ということでご指名を受けましたので、会長を補佐してしっかりやっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、これより議事を進めてまいります。会長が議長となりますので、森島会長に進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

議 長 はい、それでは皆様のご協力をいただきまして、これから議事を進めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。本日の会議は、おおむね 15 時終了を目処としておりますので、ご協力の方よろしくお願いいたします。

議 長 それでは、本日の議事といたしまして、まず（１）番、勇払公民館の運営について、平成 25 年度の事業報告と平成 26 年度の事業計画について、公民館の方から一括して説明をお願いいたします。

< 以下資料により説明 >

①平成 25 年度事業報告

②平成 26 年度事業計画

議 長 はい、ありがとうございました。ただ今の説明につきましてご意見、ご質問等ありましたら、いただきたいと思っております。何かございますか。

委 員 今、ご説明いただきました 25 年度の貸館事業なんですけれども、具体的な事業内容と、あと 24 年と 25 年で大きく利用数が減っているんですが、理由について教えていただけませんか。

館 長 貸館事業なんですけれども、これは一般貸付と申しまして、まあ、個人なんかもございまして、それとかサークル活動以外の事を何度も、何度もという申し訳ないんですけど、条例に規則に沿いました方々にお貸ししている事業です。そして、大幅に減ったと申しますとですね、これは地域住民の方々にもお貸しし

ているものもあるんです。それで例えば、大幅に減ったと申しますのは、昨年、地区の、一昨年ですか、平成25年になくなっちゃったんですけども、野球の少年チームがございまして、ちょっと細かい話なんですけど、それが人数が2人、3人しかいないんです。そして、冬の間、私どもの方に講堂というものがあるんですけども、そこが体育館のような使い方もスポーツ団体にお貸ししているんです。その冬場の練習に、2、3人の方なんですけど、開放していたんですけども、それもなくなったものですから。かなり回数的には減ったんですけども、人数的にも少ないもんですから、これが大きいかなと思います。それと、全体的にサークル活動もですね、私が説明した25年度は24団体。26年度は22団体という形で、少しずつ高齢化に伴いまして、閉鎖していくサークルが増えてございます。ちょっとまあ、やはり高齢化という形で、どうしても防ぎきれない課題かなと思っております。以上です。

委員 ありがとうございます。

議長 他にご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。なければ次に移らせていただきます。(2)番、中央図書館の運営について、平成25年度の事業報告と、平成26年度の事業計画について説明をお願いいたします。

<以下資料により説明>

- ①平成25年度事業報告
- ②平成26年度事業計画

議長 はい、ありがとうございます。今説明がありました点に対しまして質問・ご意見ありましたらよろしく願いいたします。よろしいでしょうか

委員 すいません、誰もいかないので、口火を切る役をやらせていただきます。2点あります。まず1点目はですね、25年度の図書館事業の報告の中で、先ほど事務局から報告いただきました1ページ目、開いて1枚目ですね。平成26年度苫小牧市図書館協議会定例会資料の2番、平成25年度蔵書状況説明のところ、図書購入数、24年度が13,000冊くらいですか。25年度が9,000冊くらい。率直な意見として、例えばこれくらいの冊数というのは購入冊数としてですね、満足できる冊数なんでしょうか。それともお金がなくてやむを得ず、このくらいしか買えてないというのが現状なのかというあたりをちょっと聞いていいですか。

- 事務局 24年度は、ここにありますように、図書資料費予算1,800万円のほかに交付金が768万円つきまして、13,000冊くらいの本が購入できたということであります。大体、図書館の蔵書費は1,800万円で推移をしてきております。
- 中央館の他に、6つの図書コーナーと1台の移動図書館車を持っておりますので、基本的に皆さんがみんなが読みたい、図書館に行ってもこの本が棚にあったらいいなという本を、一冊しか買うことのできないという状況があれば、常に誰かが読んでいて、予約をしてもらって順番待ちで読んでもらうという状況が発生します。
- 今回3,000万の予算がつけましたので、基本的にたくさんの種類の資料が図書館にあるのが望ましいと考えますが、皆さんの読みたい、今読みたいという本を1冊ではなくて、サービスステーションが中央館を含めて8ポイントありますので、そういう本が1冊ではなく3冊あれば、今よりも皆さんが図書館を利用していただく理由にもなるかなと考えております。
- 1,800万が、これくらいあればいいという金額ではないことは間違いございません。今回3,000万に資料費がなりますが、これは紙の本、紙の資料を買うための予算ではございませんので、データベースとか、先ほどお話がありました映像資料のほうも含まれますので、全部が本として還元されるわけではございませんが、皆さんの期待に応えられるような金額に、少し近づいたのではないかと感じております。
- 委員 3,000万というのは今年と来年以降も大体そのくらいという回答でしょうか。
- 館長 5年間全て3,000万円という形でいただいております。
- 委員 ということは、今までの金額よりも新しい本を買うお金がだいぶ増えるというふうに思っていますね。ありがとうございます。あと、もう一点なんですけども、もう一点は、新しい事業ということなんですけども、今回指定管理ということでだいぶ議論があったのはご存知かと思えますけれども、かなり市民の注目度も高い状態になっております。
- その中で特にサービスが落ちるのではないかという議論が出ていたり、後はコスト優先じゃないかとか、そういう意見もいろいろと出ていて心配が結構あったと思うんですね。そうした中で非常に注目度が高いものですから、どうでしょうかね、一年間で評価アンケートを取るというのでは、少し遅いのかも。多分、皆さん、今、見てると思うんですね。できればですね、半年とか早いタイミングでアンケートを取るなり評価をしてみて、で今年の内にも悪かったところは改

善していくって言うふうにやるのが、いわゆる民間のスピードってことで期待される部分かなと思いますので、先ほど、下に行って意見箱とその回答を見てきたんですけど、まだやっぱり少ないんですね。実際に自分から書いてくれる人ってクレームのある人か、よっぽど意識の高い人くらいしか書いてくれないので、そんなに多くないもので、みんなの意見をもうちょっと聞こうと思えば、あえてちょっと手間取らせるかもしれないですけど、アンケートとかを早いタイミングで取るなりして、そこでそれなりに自分たちの評価をして、変えていくって言うふうに、当然お考えだとは思いますが、されるといいなと思いましたので。

館長 回答不要かもしれませんが、それでは、スピード感を持って考えさせていただきます。初年度の評価につきましては、2回の実施ということで、ご提案のありました半年に1回という形で前期後期の推移を見てみたいと思います。また、おっしゃるとおり、非常に注目度が高いということは、私の胃の痛みに照らしても、充分理解しておるつもりです。そこも含めて丁寧にやっていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員 とっても期待しております。

議長 他に何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それではその他ということで委員の皆様からこの場で何か話題を、出しておいた方がいいと思われるものがありませんでしたらお願いいたします。

特にございませんか。よろしいでしょうか。それでは時間も良い時間になってまいりましたので、本日の議事につきましては、この辺で終わりたいと思います。ご協力どうもありがとうございました。

事務局 それでは森島会長どうもありがとうございました。委員の皆様におかれましても何かとご多忙の中お時間を頂きありがとうございます。これからの2年間、公民館、図書館の事業運営にお力添えいただきますよう、改めましてよろしくお願いいたします。

それでは本日の定例会を終了させていただきたいと思います。この後、委員の皆様にお時間があれば、図書館で新しい取組等いろいろさせていただきますので、見学会を開催したいと思います。ぜひ館内をご覧くださいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

閉会 14:35

<出席者>

○委員

森 島 新	会長
深 澤 治 稔	副会長
一 谷 誠 子	委員
伊 藤 博 之	委員
岡 田 房 子	委員
久保田 眞知子	委員
鈴 木 一 恵	委員
中 村 峰 子	委員
三 浦 友紀子	委員
三 河 佳 紀	委員

○事務局

教育委員会	和野教育長
	澤口教育部長
	荒物屋教育部次長
	瀬能生涯学習課長
	野水生涯学習課主幹
	今井生涯学習課副主幹
	南主事
勇払公民館館	村田公民館長
	今村主査
中央図書館館	菅野館長
	新谷チーフ